

JANOG58

『坂の上の雲』へ続く道は、 どこにあるのか

— ネットワークに関わる人の最初の一步と、その先へのつながりを考える —

社会人になるまでUNIXもネットワーク機器も
触った事ないLv1だった人

川村の道

自己紹介 川村 聖一



趣味：読書とベース

出生：鹿児島県

育ち：サンディエゴ

2001年 NEC入社

2004年 NEC・BIGLOBE事業本部へ異動
ISPネットワーク設計、シンガポール子会社設立など

2016年 Google入社
Global Network Infrastructure Strategic Negotiator
としてピアリング共同責任者、ファイバー
およびコロケーション調達担当などを歴任(US在住)

2025年 Google退社
フリーランス通信インフラアドバイザーとして独立

その他活動

- Peering in Japan発起人、RFC5952 Author、昔のJANOG会長
- 書籍「[ピアリング戦記](#)」発起人、
フリートレーニング素材「[ピアリング管理者の教科書](#)」作者

ネットワーク運用でつ
ぶらな困りごと



もっと世界を知りたい



よりグローバルな仕事へ



世界を知るともっと
色々な事に気付く

ネットワーク運用でつ
ぶらな困りごと



もっと世界を知りたい



世界を知るともっと
色々な事に気付く

ここの入り口がわか
らない・自信がない

Peering in Japanとは

ネットワーク運用でつ
ぶらな困りごと



もっと世界を知りたい

たまたま近藤さん
(2代目会長)がRandy
BushをJANOGに連
れてきた。たまたま
英語ができたから通
訳させてもらえた。
その縁でIETFの活動
を支援してもらえた
☺

ネットワーク運用でつ
ぶらな困りごと

よりグローバルな仕事へ

日本の改善すべきと
ころに気付く。でも
怖い人が多いこの世
界。どうやったら変
えられるのかわから
ない。

もっと世界を知りたい



世界を知るともっと
色々な事に気付く

ネットワーク運用でつ
ぶらな困りごと

よりグローバルな仕事へ

とりあえず仲間募っ
てみたらすごい人が
集まってきた。
みんなで解決の道筋
を作る事に。

もっと世界を知りたい



世界を知るともっと
色々な事に気付く

振り返ると・・・

メンターの存在が大きかった
(勝手にメンターと思った)

僕もたくさんメンターしたし、
(BIGLOBEでもGoogleでも)
今もしてもらってる

教える/教わるも大事だけど、
メンターと伴走してる感じで
すごく伸びる

ネットワークインフラ寺子屋の概要 in 1 slide

こんなの
やってみたい！

理念：Open to all（非技術者大歓迎）、豊富な成長機会、多様に輝く人材

What：経験豊富な人による、参加費無償でMentoringスタイルのクラスの提供

When：NOGなど業界イベントの前日もしくは当日午前中、参加者は後日録画も観れる

How：サポーター団体と発起人によるシステム・講師の拠出、スポンサーによる講師謝礼や資金の拠出（スポンサーメリットは教材などでのロゴ掲載、優先参加、アピールタイムの提供）

高度技術・仕組	交渉	プロダクト	経営
現場運用		お金の話	
基礎技術の教育			
基礎知識（仕組み）の教育			

実用的なインフラ教育スタック

サマリー

- 成長も入り口も、メンターの存在は欠かせなかった
- メンターは制度的なものだけでなく、勝手にメンターと思っちゃってもよい
- しかし出会いの機会は公平ではない
- 個人的想いとしては、ネットワークに関わる人の成長機会を民主化（Open source的に）したい、広げていきたい
- 寺子屋は一つのアイデア